

会 議 録

会議の名称	令和元年度第2回吉川市図書館協議会
開催日時	令和2年2月18日(火) 午前・ 午後 13時30分 から 15時30分 まで
開催場所	吉川市役所 302会議室
出席委員(者)氏名	小林智樹・若林元城・野上文子・遠藤美穂・川島富美代・木村嘉男・旭福代・西崎久男(敬称略)
欠席委員(者)氏名	岡田三津子(敬称略)
担当課職員職氏名	生涯学習課 宗像課長、程田課長補佐、岡庭主任 指定管理者 武居館長、八田チーフ
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 令和元年度利用者満足度結果報告について【公開】 (2) 第3次吉川市子ども読書活動推進計画について【公開】 (3) 指定管理者の指定について【公開】 (4) 令和2年度吉川市立図書館運営方針について【公開】 4 その他 5 閉会
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	・令和元年度第2回吉川市図書館協議会次第 ・利用者満足度調査結果報告書 ・第3次吉川市子ども読書活動推進計画(案) ・指定管理者の指定について ・令和2年度吉川市立図書館運営方針
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	若林元城・西崎久男(敬称略)
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ (木村会長)</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 令和元年度利用者満足度結果報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明願う。 〈資料に基づき説明 (省略) 〉 ・意見質問あるか。 ・市役所が隣に移ってきたことで、利用に変化はあったか。 ・大きな変化はないが、市職員が利用するようになったことで利用者層に変化はある。 ・市立図書館入口のソファに男性陣が多数座っているのが見受けられるが、変えられないか。 ・以前からご意見をいただいている。10年以内にはレイアウトの検討をしたいと考えている。また、20年前の開館当初は、視聴覚コーナーを看板にしていたが、今では機材の修理部品がなく壊れたまま空きスペースになっている箇所があるので、まずはコーナーの模様替えを検討している。 ・自分は、図書を借りるより布絵本をつくるのが目的で利用している。子どもたちがよく使っていただいているのでありがたいと思っている。蔵書については、手芸の図書が減った感じがする。 ・市立図書館は、入ってすぐの辺りが暗く感じる。入口が明るくなると施設全体が明るい印象になると思う。また、「本日使用した施設の利便性」の項目では、「外国の方でも利用しやすい」の評価が低く不便と感じている方が多いことが分かる。英語を教えている立場として協力できることがあるので、できることは協力したい。 ・市内の外国人の国籍は50か国超えていると聞いたことがある。全ての国は無理だが、外国語の図書を充実できたらよい。 ・市立図書館は電波が入りにくい状況である。パソコン室は、Wi-Fi によるインターネットが使えるようにならないのか。 ・Wi-Fi 環境の整備は検討しているが、設置は未定である。 ・図書館の情報を提供するにあたっては、何か工夫されているのか。 ・来年度から、図書館だよりなどの情報誌を、SNSで試行発信していきたいと考えている。また、チラシやポスターより、広報よしかわを見て集まる方が多く、広報よしかわの存在は大きいと感じている。 ・小さな子どもを持つお母さんから「吉川市の図書館が市外の方にも多く利用されている理由は、蔵書が充実しているから」と聞く。蔵書が多いことはよいことだが、子どもが小さいうちから、外国語の本に触れることも良いことなので、子ども向けの英語の本などが増えたらよい。 ・三郷市は“読書のまち”と言われていると聞くが。 ・吉川市には、三郷市にはないサービスがあると、利用者満足度結果報告の意見にも書かれている。吉川市も劣っていないと思う。 ・三郷市は「日本一の読書のまち推進課」を組織するなど、市を挙げて取り組んでいる。また、人と予算の使い方が違い、オーディオブックや電子図書な
会長	
会長	
会長	
事務局	
会長	
事務局	
委員	
委員	
委員	
委員	
事務局	
会長	
事務局	
委員	
会長	
委員	
事務局	

委員 事務局 委員	<p>どが充実していると感じる。出来ることはまねをして、市民に気持ちよく利用してもらいたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数には制限を設けているのか。 ・設けていない。 ・図書館には、幼稚園として見学やおはなし会などでお世話になっている。子どもたちの活字離れが進む中、園児には、図書館を身近な場所を感じられるよう取り組みをしている。また、広報活動では、図書館だよりをホームページのお知らせ欄にPDFで貼り付けたり、工夫されていると感じる。SNSなどで発信するのが今の世代には合っているのかもしれない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査のアンケートをインターネットで出来ないかと、前回の図書館協議会で意見があった。若い世代にも答えていただきたいと思っているので、検討していきたい。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全国で貸出冊数が1番になるのは、人口の数ではない気がする。 ・埼玉県内では、三芳町の一人当たりの貸出冊数が1番多い。学校や施設などに熱心に配本し、貸出を増やしていると聞く。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館から幼稚園に、団体貸出として絵本を持ってきていただいております、大変助かっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校にも図書を持ってきていただいております、子どもも教員も活用させていただきありがたいと思っている。理想は、学校の図書がバーコード化され交流できるようになり、蔵書情報が共有されることである。
委員 事務局 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍が流通しているが、貸出すことはできないのか。 ・タイトルは少ないが、電子書籍を貸出している図書館もある。 ・吉川市では、電子書籍の蔵書はあるのか。 ・吉川市にはない。三郷市では電子書籍の貸出をしており、インターネットによりパスワードを入力して、2週間で返却となる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上で貸出返却するため、図書館に行かなくても貸出返却ができるのは便利である。
会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍の導入に障壁となっているものは何か。 ・導入やランニングのコスト、また、電子書籍のタイトル数が未だ少ない点が挙げられる。
会長 事務局 委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市は導入されているのか。 ・導入されている。 ・時代の流れから、紙による媒体が厳しい時代となってきている。 ・北海道のある本屋では、購入者のニーズに応えてくれるコンシェルジュがいて評判がいいと聞いた。お薦めの本を選んでくれるコンシェルジュがいるとよいのだが。
事務局 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・職員も本の面白さを伝える力が必要と考えている。 ・年始には、職員がお薦め本3冊を入れた福袋を貸出しており、意外な本と出会えたなど好評をいただいている。
委員 事務局 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・面白い取り組みである。そのような情報はどこを見ればよいのか。 ・ホームページやブログで情報を得ることができる。 ・現在、ホームページを見る際はパソコンよりスマートフォンが主流になってきていると思うが、市立図書館のホームページの見やすさはどうか。
委員 事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンで見ると画面が小さいかもしれない。 ・7月頃にホームページを改修する予定なので期待してほしい。 ・利用者満足度調査の結果は声を上げた人の意見なので、現場での意見も吸い上げてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、まちの中を巡回している移動図書館があったが今はあるのか。

事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はない。 ・AIによると、長生きするためには図書館を利用することだとテレビ報道されていた。図書館で歩いて図書を探すことで健康につながるようである。図書館に足をどう運ばせるかが重要となってくる。また、吉川市ではベトナムの外国人が多いが、外国人が図書館を利用しやすくすることも大切である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の方には、日本語は図書館の本を利用しながら楽しんで覚えてほしいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・親が母国語でしか会話しない家庭は、子どもが日本語に触れる機会がなく、友達と会話できなく学校を楽しめていない。何等か支援してあげられたらよいのだが。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対する図書館の対応としては、外国語コーナーをつくるなどの取り組みが必要であると思う。また、外国人が増えていく社会の流れの中では、前倒しでの対策が必要と考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ワカマツ幼稚園では、5年ほどの間13か国20名弱の留学生の受け入れをしている。子どもたちに異文化に触れ理解して、異文化の垣根をなくしてほしいと思っている。また、絵本の読み聞かせは、そういう力を豊かにし、想像力や協調性などの非認知能力を高めてくれるため、継続して取り組んでいる。一方、学びたい意識が高い留学生でさえ、図書館を利用するのはハードルが高いと感じている。外国語の蔵書を増やすことも大切である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を教えているが、共通言語として英語は学ぶべきものだと勧めたく、そのためには多読を広めていきたい。子どもたちはゲームと絡めてご褒美を付けると英語の本を夢中で読んでくる。図書館で、英語の図書を多読できるように揃えていただければありがたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせのため小学校に行くことがあるが、外国籍の子どもが仲良く活動しているところを目にする。読み聞かせは、耳から情報を入れるのでよい取り組みである。外国籍の子どもの親にも聞かせてあげたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもはすぐ覚えるがすぐ忘れる。その繰り返しでよいので、読み聞かせを続けてあげてほしい。家庭にも英語の本があるとなおよい。
会長	<p>(2) 第3次吉川市子ども読書活動推進計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明願う。 〈資料に基づき説明(省略)〉
会長 委員 事務局 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・意見質問あるか。 ・どの施設と言うことでなく、市全体と捉えてよいのか。 ・市全体としての計画である。 ・美南地区に図書館があるとよいのだが。 ・図書館を要望する声があるのは承知しているが、現在、図書館設置の計画はなく、既存の視聴覚ライブラリーや中央公民館図書室の利用を案内している。また、近隣5市1町の広域利用や、児童書になるが児童館での貸出を案内している。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に吉川中学校ができるので、中学生徒については学校図書室の利用ができるようになる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学の子どもが利用できなく、また、本屋もない状況である。子育て支援センターでも貸出しているが、冊数が少ない状況である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きの課題である。

会長	<p>(3) 指定管理者の指定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明願う。 〈資料に基づき説明（省略）〉
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・意見質問あるか。 なし
会長	<p>(4) 令和2年度吉川市私立図書館運営方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明願う。 〈資料に基づき説明（省略）〉
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・意見質問あるか。 なし <p>4 閉会</p>

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和2年 4月 10日

署名委員

若林元城

署名委員

西嶋久男

